



プレスリリース

本資料は1月22日に米国で
発表されたプレスリリー
スの翻訳版です

2019年1月22日

初のグリーンボンドを発行

シティは、本日、当社初となるグリーンボンドの発行を発表しました。調達資金は、シティが「1,000億ドル環境ファイナンス」という目標に向けて投融資している、再生可能エネルギー、持続可能な輸送、水質の維持と保全、エネルギー効率、環境に優しい建築などのプロジェクトに充当されます。

この債券は、発行金額10億ユーロの3年固定利付債で、2019年1月22日に価格決定しました。シティによる初のグリーンボンド売り出しであり、当社の環境や気候変動ファイナンスへの取り組み強化の姿勢を示すものです。

シティグループの社長兼インスティテューショナル・クライアント・グループ責任者であるジェイミー・フォリスは次のように述べています。「初のグリーンボンド発行で新たな一年を始めることができ、誇らしく思います。本件は、持続可能な成長に対するシティのコミットメントを拡大するための重要なステップです。当社が持つグリーンボンドの知見をさらに高め、世界中の顧客とのパートナーシップを強化し、持続可能ファイナンスへの投資家の関心の高まりに応じることができると考えています。」

シティは、環境問題の解決に向けた支援や低炭素経済への移行を後押しするため、10年で1,000億ドルの投融資を行う「1,000億ドル環境ファイナンス」という目標を2015年に発表しました。2020年までに世界中のシティの事業拠点で使用される電力を100%再生可能エネルギーで調達することも最近発表しました。これらの取り組みは、国連の「持続可能な開発目標（SDG）」を推進するためのものであると同時に、環境ファイナンス、環境および社会リスク管理、自社オペレーションおよびサプライチェーンにかかる当社の行動原則や決意を定めた「持続可能な成長戦略」の主な目標でもあります。

シティの会計部門責任者であるマイケル・ベルデスキは次のように述べています。「2014年にグリーンボンド原則を共同で発表して以来、シティはグリーンボンド市場の発展を牽引してきました。市場は成長を続けており、当社もそのコミットメントを堅持していきたいと考えています。」

シティのグリーンボンド・フレームワークに基づき、再生可能エネルギー、エネルギー効率、持続可能な輸送、水質の維持および保全、そして環境に優しい建築が、環境的観点から適切な基準として採用されました。シティのグリーンボンド・フレームワークが、当社の持続可能性上の目標や国際資本市場協会のグリーンボンド原則に沿ったものであることは、外部コンサルタント会社であるサステイナリティクス社が実施したセカンドオピニオン調査で確認されています。

シティについて

シティは、世界160以上の国と地域に約2億の顧客口座を有する世界有数のグローバルな金融機関です。個人、法人、政府機関などのお客様に、個人向け銀行業務、クレジットカード、法人・投資銀行業務、証券業務、トランザクション・サービス、資産管理など、幅広い金融商品とサービスを提供しています。

www.citigroup.jp | www.citigroup.com | Twitter: @Citi | YouTube: www.youtube.com/citi | Blog: <http://blog.citigroup.com> | Facebook: www.facebook.com/citi | LinkedIn: www.linkedin.com/company/citi

本件に関するお問い合わせ先

シティグループ
コーポレート・アフェアーズ
03-6776-5112